

令和5年度 福祉サービス第三者評価 評価報告書

社会福祉法人 南高愛隣会
WORKながさき

長崎県指定『福祉サービス第三者評価』機関
有限会社 医療福祉評価センター

(様式第6号 別紙)

長崎県福祉サービス第三評価結果報告

① 第三者評価機関名

有限会社 医療福祉評価センター

② 事業者情報

名称：WORK ながさき	種別：就労継続支援 B 型
代表者氏名：甲斐 千尋	定員（利用人数）： 20 名
所在地：長崎市鳴見町 50-5	TEL：095-865-8971

*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

③ 施設・事業所の特徴的な取組

WORK ながさきは長崎市の拠点「LOCAL STATION STELLA」の就労継続支援 B 型事業所である。同じ拠点には生活介護、相談支援事業所、隣にはグループホームが併設されており、同じ拠点に様々なサービスの利用者が行き来する拠点となっている。

就労支援の特徴的な取組のひとつとして、施設内就労でチョコレート製造を行っていることが挙げられる。高級チョコレートとして有名なチョコレート会社のフランチャイズ店の製造部門として、事業所内で利用者が職員の支援とともにチョコレートを溶かし、型に入れ、切り分ける等の作業を行っている。製造されたチョコレートは住吉町の店舗での店頭販売やイベントに出店して販売している。今後の目標としてチョコレート製造部門の売上増を目標にしており、今後、店舗の移転など売上の増加に向けて計画を立てている。

また、施設外就労の洗濯事業は地域の就労先を複数契約しており、今年度も洗濯事業の施設外就労先を 1 件新規開拓している。現在の就労先には今後の作業日数の増加を要望されるなど就労先からの需要も高い。地域の高齢者の社会福祉法人や、クリーニング店などとの就労を通じて、利用者と地域とのつながりの構築に繋がっている。

WORK ながさきでは、希望する利用者には一般就労に向けての支援を段階を踏みながら積極的に行っている。一般就労が現段階では難しい利用者に対しても、毎日のチェックシートで達成できたことを確認し、また毎月の「スキルアップ賞」の授与により全員で認めあいながら、できるように向上を目指していく事業所としての前向きな姿勢が見られた。今後もそれぞれの利用者に向き合いながら就労支援を通じて利用者の「生きる誇りへの、挑戦」を支援することを期待できる事業所である。

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年7月3日（契約日） ～ 令和6年2月20日（評価結果確定日）
受審回数	初回

⑤総評

◇特に評価の高い点

①就労内容が選択できる選択肢の広さ

WORK ながさきでは施設内就労としてビニール折り、封入作業、チョコレート製造、施設外就労として洗濯作業、墓地等の清掃作業を行っている。さらに施設外就労先として他の社会福祉法人や地域のクリーニング店など複数の就労先があり、利用者の中には2つの就労内容を兼務して就労している利用者もいるとのことであった。また、洗濯作業の施設外就労に関しては、就労先事業所の施設長と定期的に話し合いを行ったり、クリーニング店に事前の情報共有や随時の連絡を行ったりするなど、就労先との関係の維持に努めている。

このような事業所の取り組みにより、利用者の意向や能力、適性により就労内容を様々な選択肢の中から選ぶことができるのは、利用者に合わせて事業所が柔軟に対応する体制としてWORK ながさきの強みのひとつである。

②スキルアップ賞の授与による利用者のモチベーション向上の取り組み

WORK ながさきでは、毎月利用者共通の行動目標を立てており、月に一度、その目標を一番達成できた人として「スキルアップ賞」を利用者に授与している。スキルアップ賞は月毎にバランスよく全体の利用者に授与できるようにしている。月に一度、授与者を利用者と職員全員で表彰する機会があることで、利用者のモチベーション向上につながっている。就労支援として利用者の能力の向上を目指すだけでなく、就労意欲の向上にも積極的に取り組んでいる良い事例である。今後もこの取組の継続を期待したい。

◇改善を求められる点

① WORK ながさきの事業内容の周知

WORK ながさきでは、就労継続支援 B 型として、主に「久遠チョコレート製造」、「事業所内作業として、ビニール折りと封入作業等」、「施設外就労として、洗濯や清掃等」を実施している。久遠チョコレートについては、店舗で販売をしたり、年 1 回、拠点である LOCAL STATION STELLA（ローカルステーションステラ）内でマルシェを実施した時に、販売をして地域に向けて周知をする取組をしている。ただ、他の作業に関してや WORK ながさきの事業内容について、地域をはじめもっと幅広く知ってもらうためにも、今後はマルシェの中に相談会のような場を設け、WORK ながさきを更に周知することを期待する。

② 職員へのモチベーションアップのための取り組み

WORK ながさきの作業の中で、施設外就労は洗濯や掃除等を外部の高齢者施設で行っている。この作業は、利用者が主体となり作業を行っているが、時間の制約等があり、利用者だけで終了ができないことが想定される場合には、職員も一緒に作業を行うこともある。施設外就労先からもらう金額については、現状では管理者等上層部のみ把握をしているとのことである。しかし、職員は利用者の支援をしながら掃除や洗濯の作業を行うという負担の大きい作業に取り組んでいるため、職員のモチベーションの維持・向上のためには、支援や作業の目的、そして就労作業の成果として就労先から受け取る報酬金額を伝えることが重要である。今後施設外就労先からの料金の説明を職員へ行い、そこから職員のモチベーションアップにつながることを望む。

⑥第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

評価頂いた点については今後も更なる向上心を持って取り組み、また、改善を求められる点については、真摯に受け止めて、事業所全体で改善に向けて取り組んで参ります。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)